

[令和4年11月改訂]

学位論文関係諸手続

課程博士

旭川医科大学大学院医学系研究科

学位論文（課程博士）関係諸手続

学位の授与を受けるためには、学位論文の提出から公表まで、大学院学則等の規程のほかに詳細な手続上の決まりがありますので、予め、この冊子を熟読し、十分注意のうえ手続をして下さい。

I. 学位論文提出手続の前に

1. 学位論文提出の資格

学位論文は、大学院医学系研究科博士課程に3年を超えて在学し、大学院学則に定める授業科目について所定の単位を修得見込みの者で、学位論文提出時まで、博士論文発表会に2回以上出席している者が提出できます。

2. 学位論文

学位論文は、単著、共著の原著論文又は学術雑誌等に掲載された原著論文を引用した学位申請論文とします。

共著の場合は、次の2つの要件を満たす場合に限り提出できます。

- (1) 論文提出者が筆頭者であること。ただし、論文提出者が筆頭者でない場合であっても、学位論文に第一著者と同等であると明記されている場合 (Equally Contributed) に限り、学位論文として審査を願い出ることができます。
- (2) 論文提出者以外の共著者が、当該論文を学位論文として学位授与申請に使用しないものであること。この場合、共著者の承諾書（様式第19）を添付しなければなりません。

3. 学位論文の公表

学位規程第11条により、博士の学位を授与された者は、博士論文の全文をインターネットの利用により公表することが義務付けられています。このインターネットによる公表とは、旭川医科大学学術成果リポジトリに掲載することにより行うものです。

以下、学位論文諸手続中、「公表」とは旭川医科大学学術成果リポジトリに掲載することを示します。

学位論文として提出できる論文は、学術雑誌等に掲載された論文、又は掲載予定証明書等で掲載の確認ができる論文となっていますのでご注意願います。

II. 学位論文提出手続等

1. 学位論文提出手続

(1) 学位論文提出の時期

学位論文の提出時期は、次のとおりとなっているが、提出時期が土曜日又は日曜日にあたる時は、その直前の金曜日とする。(午後5時締切り)

- 1) 3月修了予定者 前年の12月5日
- 2) 6月修了予定者 同年の3月5日
- 3) 9月修了予定者 同年の6月5日
- 4) 12月修了予定者 同年の9月5日

(2) 学位論文提出先

学位論文は、学生支援課大学院・留学生係に提出すること。この場合、提出書類について、誤記等があればその場で訂正してもらうので、本人が持参すること。

また、原稿を作成した時点で、必ず事前に指導教員の点検を受けること。

(3) 提出書類等

- 1) 学位論文審査願(様式第7) 1通
- 2) 論文目録(様式第9) 3通
- 3) 学位論文※1(正3部, コピー3部) 6部
- 4) 参考論文(一編につき正3部) 3部
- 5) 学位論文の要旨(様式第14) 120部
- 6) 履歴書(様式第10) 3通
- 7) 指導教員承認書(様式第16) 1通
- 8) 共著者承諾書(共著者がある場合)(様式第19) 1通
- 9) 学術雑誌等への掲載予定証明書等 1通
- 10) 博士論文(全文)のインターネット公表可能日の連絡届(様式21)※2 1通
- 11) 博士論文(全文)のインターネット公表保留承認申請書(様式22)※2 1通

上記1)から8)及び10), 11)については、作成上の注意事項を後掲してあるので参照すること。

※1 論文全文の電子データを、学位授与決定後、学位授与日前までに学生支援課大学院・留学生係に提出すること。

- ・ ファイルはPDF形式とし、パスワードによる保護は設定しないこと。
- ・ ファイル名は「学位被授与者名.pdf」とすること。
- ・ テキスト情報が保持されたファイルとすること。
- ・ メール添付(gaku-inryu@asahikawa-med.ac.jp)、又はCD-R等に記録して提出すること。

※2 ① 学位授与日以降、直ちに博士論文全文を公表することができない場合は、公表可能日に合わせて、以下のいずれか一方の様式を提出すること。

- ・ 様式21: 公表可能日が学位授与日より1年以内の場合。
- ・ 様式22: 公表可能日が学位授与日より1年を超える、又は未定の場合。

* 学位授与日以降、直ちに公表可能な場合は、いずれの様式も提出不要。

② 様式22を提出した者は、学位授与日以降直ちに博士論文全文をインターネット公表することができない事由が「やむを得ない事由」に該当するかを大学院博士課程委員会において判断される。「やむを得ない事由」として認められた場合、博士論文が公表できるようになるまで、「博士論文の要約」をもって公表に代えることができる。その場合、「博士論文の要約」は以下のとおり作成し、電子データを学位授与決定後、学位授与日前までに学生支援課大学院・留学生係に提出すること。

- ・ 表紙は4頁の学位論文の表紙を参考に作成し、表題は「博士論文（要約）」に変更すること。
- ・ 本文は3,000字程度とし、博士論文の構成や全体の内容がわかるようにすること。「博士論文の要旨」をそのまま「博士論文の要約」とすることは不可。
- ・ ファイルはPDF形式とし、パスワードによる保護は設定しないこと。
- ・ ファイル名は「学位被授与者名（要約）.pdf」とすること。
- ・ テキスト情報が保持されたファイルとすること。
- ・ メール添付（gaku-inryu@asahikawa-med.ac.jp）、又はCD-R等に記録して提出すること。

③ 博士論文(全文)のインターネット公表保留承認申請書(様式22)を提出して承認を受けた者の「やむを得ない事由」が解消された場合は、博士論文全文のインターネット公表保留事由の解消届(様式23)を提出すること。この提出を受け、博士論文全文をリポジトリにより公表するものとする。

2. 学位論文の説明及び質疑応答

論文提出者は、公開の博士論文発表会において約15分間の説明をし、質疑を受けることになっているので、Power Point等の準備をしておくこと。

3. 学位論文審査及び最終試験の方法

- (1) 学位論文は、博士課程委員会に設けられた審査委員会で審査されるが、審査期間中、学位論文の内容について、各審査委員から随時試問されることがあるので、いつでも対応できるように連絡を密にしておくこと。
- (2) 最終試験は、審査委員会で学位論文の関連分野について、口頭試問又は筆答試問の形で実施する。

4. 学位の授与

審査委員会による学位論文の審査結果及び最終試験の結果は、博士課程委員会に報告され、博士課程修了の認定及び学位授与が議決された後、原則として、次に掲げる日に学長から学位記が授与されます。

- 1) 3月25日
- 2) 6月30日
- 3) 9月30日
- 4) 12月25日

Ⅲ. 学位論文及び参考論文作成上の注意事項

学位論文及び参考論文は、以下のとおり作成して下さい。

1. 学位論文

(1) 表紙

- 1) 表題は、論文の内容を具体的かつ簡潔に示すものとし、論文が日本文の場合は日本語で、外国語で書かれたもの場合は外国語で記載すること。なお、外国語の場合は、表題の下に（ ）書きで和訳を付記すること。
- 2) 略語は、表題の中ではごく一般化されたもの以外は、原則として使用しないこと。
- 3) 副題を付けることは差し支えないが、「第一報・・・」のような形式は避け、できるだけ簡潔なものにすること。
- 4) 著者名は、称号を付けず姓名を略さずに記載すること。(戸籍抄本と一致させること。)

表紙の様式 (A4判の用紙)

| |
|-----------------|
| A ○○○○○ |
| B ○○○○○○○○○○ |
| C _____ |
| D _____ |
| () |

A. 学位論文又は参考論文の別

(参考論文が2編以上ある場合は、論文目録の記載順に番号をつけること。)

例：参考論文1 参考論文2・・・

B. 表題

C. 専攻名

(旭川医科大学大学院医学系研究科博士課程○○専攻)

D. 著者名

(・・・)内に共著者名

(2) 本文

- 1) 日本語の場合は、A4判の用紙にパソコン等により印字し、横書きとすること。
 - 2) 外国語の場合は、A4判の用紙にパソコン等を用いてダブルスペースで印字すること。
 - 3) 用紙は、所属機関名等の入らない白無地のものを使用し、あまり薄い紙質のものは使用しないこと。
 - 4) 図表又は図形等は、A4判の枠のサイズ内におさめること。
 - 5) 学位論文は、提出後に訂正等のないように吟味・推敲のうえ、完成したものを提出すること。
 - 6) 学位論文は、ダブルクリップではさみ、1部ごとに封筒に入れて提出すること。
 - 7) 受理した学位論文は返却しないので、提出の際に写しをとっておくことが望ましい。
- (3) すでに学術雑誌等に掲載されているものについては、論文別刷をもって代えることができる。ただし、表紙の様式を満たしていない場合は、別に所定の表紙を付けること。

2. 参考論文

- (1) 参考論文として、学位論文を補足する論文あるいは関連分野の論文を提出することができる。
(参考論文には、申請者がすでに発表した論文を含む。)
- (2) その他のことについては、学位論文に準ずること。

IV. その他の提出書類記入上の注意事項

1. 論文目録（様式第9）

- (1) 論文題目が外国語の場合には、（ ）書きで和訳を付記すること。
- (2) 学位論文又は参考論文がまだ学術雑誌等に掲載されていない場合は、その予定を記載することが原則となっているが、学術雑誌等に掲載されることが未定の場合には、未掲載と記載すること。
- (3) 参考論文は、全部列記すること。
- (4) その他記載例を参照すること。

2. 履歴書（様式第10）

- (1) 学歴は、大学卒業以後の履歴について、年次を追って記載すること。
- (2) その他記載例を参照すること。

3. 学位論文の要旨（様式第14）

- (1) 論文題目が外国語の場合には、（ ）書きで和訳を付記すること。
- (2) 要旨は 3,000字以内にパソコン等（活字の大きさは10ポイント程度）で印字すること。
- (3) 要旨は、研究目的、材料・方法、成績、考案、結論に区分して要約すること。
- (4) 図表及び写真は挿入しないこと。
- (5) 掲載予定の学術雑誌等名を要旨の表紙に掲載すること。
- (6) 共著者があれば共著者名を要旨の表紙に掲載すること。
- (7) 重要な引用文献3編以内を要旨の最後に掲載すること。
- (8) 参考論文5編以内を要旨の最後に掲載すること。

4. 指導教員承認書（様式第16）

学位論文を提出する場合は、必ず指導教員承認書を添付すること。

5. 共著者承諾書（様式第19）

学位論文が共著による場合は、必ず共著者承諾書を添付すること。

共著者が複数名いる場合は、各々の共著者について1枚提出すること。

学外の共著者は、スキャンデータ（PDF）の提出も可とする（スキャンデータ（PDF）を印刷して提出すること）。

6. 掲載の予定を証明する書類

学位論文が学術雑誌等に未掲載の場合は、掲載予定証明書等を添付すること。

学 位 論 文 審 査 願

令和 年 月 日

旭川医科大学長 殿

氏 名 _____

旭川医科大学学位規程第4条第2項の規定により、学位論文に下記の書類を添え提出しますので審査願います。

記

- | | |
|------------|---------|
| 1. 論 文 目 録 | 3 通 |
| 2. 学位論文の要旨 | 1 2 0 部 |
| 3. 履 歴 書 | 3 通 |

備 考

学位論文は、正3部及びコピー3部を提出するものとする。参考論文については、正3部とする。

用紙はA4判とする。

(注) 署名は必ず本人が自署してください。

論 文 目 録

学位論文

1. 題 目 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○に関する研究
○○○○, ○○○○と共著（論文提出者を除く）
2. 掲載の方法 及び時期
- 例1 ○○○○医学雑誌 ○○巻○頁～○頁
平成○年（すでに掲載している場合）
- 例2 ○○○○医学雑誌 ○○巻
平成○年 掲載予定
（まだ掲載されていないが出版社等からの
掲載証明が添付できる場合）
- 例3 未掲載（上記2例以外の場合）
3. 冊 数 1 冊

参考論文1

1. 題 目 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○に関する研究
乙野次郎ほか○名と共著
（ほか○名とは、乙野次郎及び論文提出者を除く）
2. 掲載の方法 及び時期 上記学位論文の記載例に準ずる。

参考論文2

・
・

令和 年 月 日
申請者 ○ ○ ○ ○

※用紙の大きさは、A4判とし、23×17cmの枠内におさめること。

※用紙は、各自で作成すること。

（注）署名は必ず本人が自署してください。

学位論文の要旨

| | | | |
|--|----|----|------|
| 学位の種類 | 博士 | 氏名 | ○○○○ |
| <p style="text-align: center;">学位論文題目</p> <p style="text-align: center;">○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○</p> <p style="text-align: center;">共著者名</p> <p style="text-align: right;">例1 ○○○医学雑誌 ○○巻○頁～○頁 平成○年（すでに掲載されている場合）</p> <p style="text-align: right;">例2 ○○○医学雑誌 ○○巻 平成○年 掲載予定 （まだ掲載されていないが出版社等からの 掲載証明が添付できる場合）</p> <p style="text-align: right;">例3 未掲載（上記2例以外の場合）</p> <p style="text-align: center;">研究目的</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p style="text-align: center;">材料・方法</p> <p>.....</p> <p>.....</p> | | | |

（ページを入れる）

※用紙の大きさは、A4判とし23×17cmの枠内におさめ、パソコン等で印字すること。

※用紙は、各自で作成すること。

(2枚目以降)

成 績

.....
.....

考 案

.....
.....

結 論

.....
.....

(ページを入れる)

(最終項)

引 用 文 献

(重要な引用文献 3 編以内を掲載すること。)

参 考 論 文

(参考論文 5 編以内を掲載すること。)

(ページを入れる)

履 歴 書

氏 名 ^{みり} 旭 ^{がな} 川 ^{あさひ} 太 ^{かわ} 郎 ^{たろう}（男・女）

ASAHIKAWA Tarou

生年月日 昭和 年 月 日

本 籍 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

現住所 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

学 歴

平成○年○月○日 旭川医科大学医学部医学科卒業

令和○年 4月 1日 旭川医科大学大学院医学研究科博士課程入学

令和○年○月○日 同上修了見込

職 歴

な し

研究歴

な し

資 格

平成○年○月○日 医師免許証下付（第○○○○○号）

賞 罰

な し

上記のとおり相違ありません

令和 年 月 日

氏 名

※用紙の大きさは、A4判とし23×17cmの枠内におさめること。

※用紙は、各自で作成すること。

（注）署名は必ず本人が自署してください。

指導教員承認書

令和 年 月 日

旭川医科大学長 殿

論文指導教員

氏名 _____ (印)

下記の論文を学位論文として提出することを承認します。

記

| | |
|-------|--|
| 論文題目 | |
| 専攻名 | |
| 領域 | |
| 関連講座等 | |
| 氏名 | |

備考

関連講座等欄には、各人本来の講座等名と、現に指導を受けている講座等名を記入すること。講座等には、学科目、科、部、センターを含む。

共 著 者 承 諾 書

令和 年 月 日

旭 川 医 科 大 学 長 殿

氏 名 _____ 印
所 属 _____
電 話 () - () - _____
現住所 _____
電 話 () - () - _____

下記の論文を _____ 氏が貴大学院医学系研究科に博士論文として提出
することを承諾します。

なお、私は当該論文を学位論文として学位の授与の申請に使用いたしません。

記

論文題目

備 考

この承諾書は、共著者が作成すること。

令和 年 月 日

旭川医科大学長 殿

博士論文(全文)のインターネット公表可能日の連絡届

私が執筆した博士論文の全文は、学位授与決定後の下記公表可能日以降速やかに、インターネットの利用により公表願います。

記

公表可能日： 令和〇〇年〇〇月〇〇日

届出者氏名 旭川太郎 印

※自署の場合は押印不要

学位取得予定日 令和〇〇年〇〇月〇〇日

指導教員確認欄
(論文紹介教員)

○ ○ ○ ○

印

※自署の場合は押印不要

- ※ インターネット公表とは、旭川医科大学学術成果リポジトリに掲載することを示します。
- ※ 本様式は、学位取得予定日から1年以内の一定期間、公表を保留する必要がある場合に提出するものです。

令和 年 月 日

旭川医科大学長 殿

博士論文(全文)のインターネット公表保留承認申請書

私は、学位を授与された場合、次の事由により、私が執筆した博士論文の全文を、学位取得予定日から1年以内にインターネットの利用により公表することができないので、博士論文の内容の要約を公表することを申請します。

なお、全文を公表できない事由が解消した際は、速やかにその旨を報告します。

1. 博士論文全文をインターネットの利用により公表できない事由

- 博士論文が、著作権保護、個人情報保護等の理由により、学位取得予定日から1年を超えてインターネットの利用により公表することができない内容を含むため。
- 出版刊行、多重公表を禁止する学術雑誌への掲載、特許の申請等との関係で、インターネットの利用による学位論文の全文の公表により、明らかな不利益が、学位取得予定日から1年を超えて生じるため。
- 博士論文が、学術雑誌へ投稿中のため、掲載されることが確約されていないため。
- その他、やむを得ない特別な事由があるため。

2. 全文を公表できない事由の具体的な内容

| |
|--|
| |
|--|

3. 全文を公表できない事由の解消見込み

| | | |
|---------------|--------------------------------------|-----------------------------|
| 見込み時期 | <input type="checkbox"/> 令和〇〇年 〇月〇〇日 | <input type="checkbox"/> 未定 |
| 見込み時期を上記とした理由 | | |

申請者氏名 _____ 印

※自署の場合は押印不要

学位取得予定日 令和 年 月 日

指導教員確認欄
(論文紹介教員)

印

※自署の場合は押印不要

※ インターネット公表とは、旭川医科大学学術成果リポジトリに掲載することを示します。

令和 年 月 日

旭川医科大学長 殿

博士論文(全文)のインターネット公表保留承認申請書

私は、学位を授与された場合、次の事由により、私が執筆した博士論文の全文を、学位取得予定日から1年以内にインターネットの利用により公表することができないので、博士論文の内容の要約を公表することを申請します。

なお、全文を公表できない事由が解消した際は、速やかにその旨を報告します。

1. 博士論文全文をインターネットの利用により公表できない事由

- 博士論文が、著作権保護、個人情報保護等の理由により、学位取得予定日から1年を超えてインターネットの利用により公表することができない内容を含むため。
- 出版刊行、多重公表を禁止する学術雑誌への掲載、特許の申請等との関係で、インターネットの利用による学位論文の全文の公表により、明らかな不利益が、学位取得予定日から1年を超えて生じるため。
- 博士論文が、学術雑誌へ投稿中のため、掲載されることが確約されていないため。
- その他、やむを得ない特別な事由があるため。

2. 全文を公表できない事由の具体的な内容

(記載例)

〇〇社の〇〇〇誌に掲載されましたが、〇〇社では、発表後〇年間は、インターネット等による公表を認めていないため。

(1でチェックをつけた事由について、具体的な内容を記載してください。)

3. 全文を公表できない事由の解消見込み

| | | |
|---------------|---|-----------------------------|
| 見込み時期 | <input checked="" type="checkbox"/> 令和〇〇年 〇月〇〇日 | <input type="checkbox"/> 未定 |
| 見込み時期を上記とした理由 | 上記2. の事由のため | |

該当する項目をチェックしてください。
(複数選択可)

申請者氏名 旭 川 太 郎 印

※自署の場合は押印不要

学位取得予定日 令和 年 月 日

指導教員確認欄
(論文紹介教員)

〇 〇 〇 〇 印

※自署の場合は押印不要

※ インターネット公表とは、旭川医科大学学術成果リポジトリに掲載することを示します。

令和 年 月 日

旭川医科大学長 殿

博士論文(全文)のインターネット公表保留事由の解消届

私が執筆した博士論文の全文について、下記公表可能日以降に速やかに、インターネットの利用による公表が可能となりましたので、届け出ます。

記

公表可能日： 令和〇〇年〇〇月〇〇日

届出者氏名 旭川太郎 印

※自署の場合は押印不要

学位取得日 令和〇〇年〇月〇〇日

学位記番号 〇〇〇〇

| | |
|---------------------|-----------|
| 指導教員確認欄 (論文紹介教員) | 〇 〇 〇 〇 印 |
|---------------------|-----------|

※自署の場合は押印不要

※ インターネット公表とは、旭川医科大学学術成果リポジトリに掲載することを示します。